

# 日本村塾

Nihonmura College for Environmental Studies



塾生募集

連絡先: エコミュージアム日本村 /  
URL: <http://www.milletimplic.net/>  
<http://www.ppmusee.org/>

[kimatami@u-gakugei.ac.jp](mailto:kimatami@u-gakugei.ac.jp)  
生物の文明への黙示録  
植物と人々の博物館

# 最近の災害から何を考えましたか？

- 自然災害

  - 地震、津波

  - 台風、ゲリラ豪雨、洪水、土砂崩れ

  - 火山噴火

  - 大雪、雪崩、冷害やませ、干ばつ

- 人為災害

  - 原子力発電所メルトダウン、放射線被ばく

  - 環境汚染、公害病、生ごみの大量廃棄

  - 経済破綻、格差拡大、エネルギーの南北差

  - 戦争、内戦

  - 人口増加、過疎高齢化、食糧の南北差

# 災害から家族や地域を守るには

- 自然に近い山村や食料生産の現場である農漁村の暮らしから、伝統的な知恵を学ぶ。
- 災害の歴史から、生存する技能を学び、対応する。
- 身近な地域で、小規模自給農耕をする。
- 家庭や地域で非常時の食料を備蓄する。
- 緑地を避難場所として保全する。
- 別の場所に親戚や友人をつくり、非常時には助け合う。
- 「今だけ、金だけ、自分だけ」をよして、心豊かな人々が暮らす地域社会を築く

# このくにの自然と文化

- 自然

山が多い。約64%が森林。

川は短く急流である。「水に流す」

海に囲まれている。島が多い。

火山が多い。

- 文化

極東辺境の地で、海に囲まれ、先行きがない。

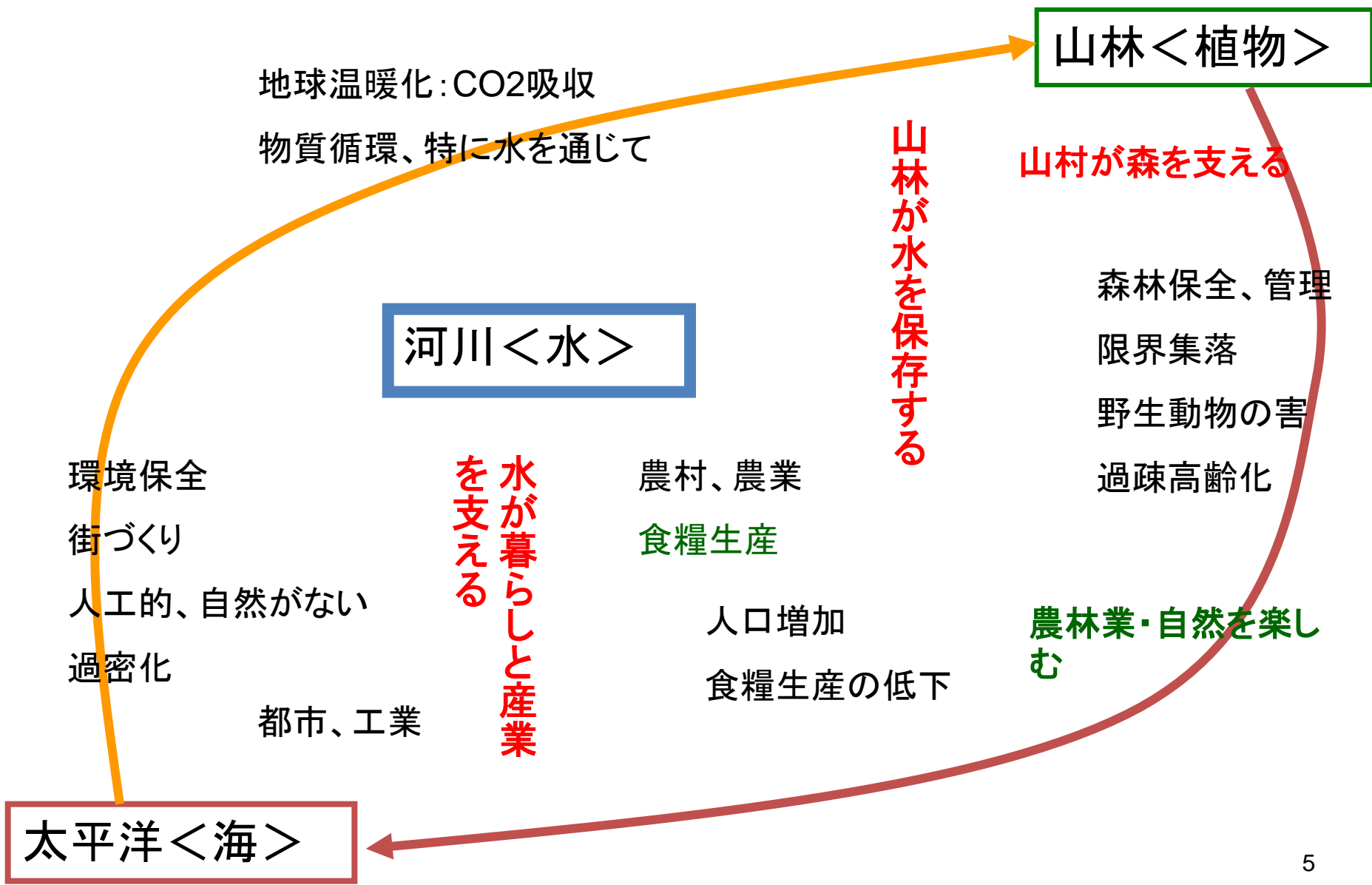
移入した文化を変容してきた。

独自の栽培植物は少ないが、在来品種は多い。

縄文土器は今のところ最古である。山住の文化。

弥生文化、平場住み。環境が多様である。

# 持続可能な地域社会（多摩川・相模川流域）の構築



# くにの市民が学び

合う、変わる、伝える

文化を再創造、継承する

くにの暮らしを良くする

平安な文明に移行(トランジッション)する

\* 日本村塾: 学びたい人々だけが集う大学の芽生え。先生なし、授業料なし、入学試験なし、資格取得なし。

# まち（都市）を考える

- 自然や山村（農山漁村）から離れたら、孤立するのは都市です。
- 都市でも、家庭菜園・市民農園を普及して、少しでも食料を自給しましょう。
- 山村（農山漁村）から伝統的な知恵を学び、持続できる社会を創りましょう。

# むら(山村)から学ぶ

- 山村(農山漁村)は暮らしの中で、自然と闘い、共存し、共生をしています。
- 山村(農山漁村)は自然に添った伝統的な暮らしの知恵を蓄積しています。
- 山村(農山漁村)は水や森を保全し、食料を生産しています。



# 雑穀見本畑と聞き取り調査



# 日本村塾

## くにを良くする学びの提案

エコミュージアム日本村は伝統文化を身につけた「日本人」になる暮らしの場であり、学びの場でもあります。

森と水、生物多様性を守ってきた山村暮らしの多様な技能、生活文化を都市民に伝えることを、山村の新たな「教育観光産業」として、仕事場を作りましょう。

村民の意思が直接確認できる小さな自治体の試みが日本や世界に良い影響を与えます。志を高く、大きく、山村民と都市民の有志がともにゆっくりと話し合って、素のままの美しい暮らしを提案しましょう。

# 縁側・囲炉裏端 講座の趣旨

世界中で気候変動が大きくなり、ピークオイルも越えました。

日本では未曾有の大地震・津波の被害復興の努力を重ねていますが、一方で原子力発電所の放射性物質公害が進行しています。

都市民は日本村での環境学習によって、持続可能な地域社会を都市に再生する契機を得ることができます。

私たちが子孫のために地域社会を維持したいのなら、私たちは山村の伝統的知恵を学び、素のままの美しい暮らしにゆっくりと変えていきましょう。



介山荘



奥多摩湖

エコミュージアム日本村



# 展示の基本概念

- 1) エコミュージアム日本村のコア博物館として、世界の植物と人々の関わりの自然文化誌を展示し、現代社会における山村の伝統的知識や生物文化多様性の大切さから、日本と世界における小菅村の重要な位置づけを示します。
- 2) 公民館活動としての展示を、小中学生、地域住民、訪問者ほか多くの方の環境理解に役立つものにする。
- 3) 科学から環境学へと、分析と統合の学びの調和をはかります。
- 4) 直接体験によって五感から第六感に向かう環境学習 From five senses to the sixth sense を行います。

# 植物と人々の博物館



雑穀畑を焼く



僻地教育インタビュー



伝統知の伝承：  
草木染



民具の整理・展示



伝統知データベース  
づくり

# 秩父多摩甲斐国立公園 エリア

エコミュージアム日本村  
／植物と人々の博物館

多摩川、小菅川



多摩川、野川、玉川上水



多摩川エコミュージアム

秩父まるごと博物館

荒川、中津川

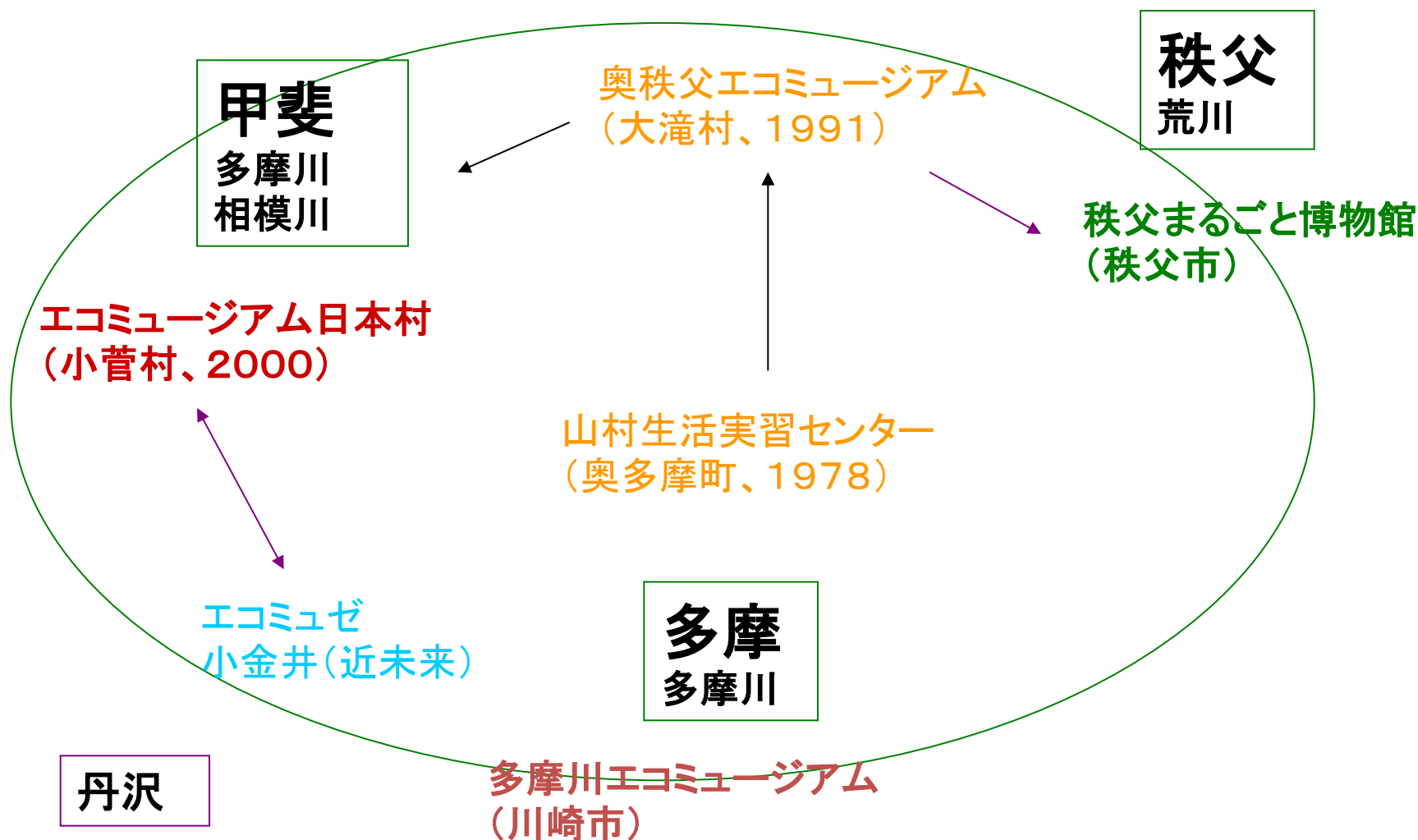


多摩川流域のエコミュージアム活動をつなぐ

中流域の活動づくり

多摩川、相模川、東京湾  
エリア

# 秩父多摩甲斐国立公園／エコミュージアム・ネットワーク





\* 学大と小菅村は連携協定を結んでいる

## 植物と人々の博物館

自然文化誌研究会

## ミュージゼス研究会

## 日本村塾

小菅村教育委員会

民族植物学実践講座P&PM  
ELF環境学習研修会INCH  
エコセラピー研究会講座  
田舎暮らしの予備校講座  
小菅人を育む会など

## 観光ネットワーク

(財)水と緑と大地の公社、観光協会、商工会ほか、100%自然塾、小金持ち工房、エコセラピー研究会ほか

## エコミュージアム日本村

流域市民  
学生団体

2014年の課題

# エコミュージアム日本村

山梨県小菅村

多摩川水系 小菅川

相模川水系 鶴川

奥多摩の市町村

野川 小金井市

長寿・雑穀のむら 上野原市

相模川 相模原市藤野

東京学芸大学農園(彩色園)

貫井南公民館(江戸野菜講座)  
ごみ対策課(コンポスト栽培試験)  
環境市民会議(田んぼの時間)  
さくら作業所、元気野菜、森の幼稚園  
園クスクス、ちえのわ農学校

トランジッション・タウン小金井

トランジッション・タウン藤野  
お百姓クラブ

ローカル・シード・バンクづくり  
雑穀など在来品種の保存、伝統食の普及、山村の暮らしに学ぶ